

東日本大震災関連支援事業 主な活動の記録

2011 年度

地震発生から2ヵ月後の5月、東京オペラシティで「チャリティコンサート〈故郷〉」を共催。その純益とご寄付をもとに、被災地の5校の吹奏楽部に110点の楽器類を寄贈。

その後も企業のご寄付により中学校等に117点の楽器を贈り、7月には学校を訪れた音楽家による演奏指導を行った。



呼びかけ人安藤友樹さん
(右)と加藤タキ AAR 副会長の
トーク

8月、避難生活を送る方々を招待して、仙台市で「心のコンサート〈希望〉」を主催。フランス出身の世界的トランペット奏者エリック・オービエ氏と仙台フィルハーモニー管弦楽団による演奏が行われた。



2011年8月5日、震災後ようやく修復された仙台市青年文化センターにて、オービエ氏(左)と仙台フィルの演奏が響き渡りました。

その他、チャリティチョコレート1万個や、緊急支援物資を入れたバッグ(全国のボランティアによる手作り)を被災地で配布。

2012 年度

医療・福祉施設や仮設住宅で、被災者の方々のためにコンサート、落語会を開催。
就学支援事業において例年行ってきた外国出身の学生の夏期研修会を被災地で実施。全国からの寄贈本を、宮城県内 4 ヶ所の福祉施設などに学生たちが直接届けた（図書寄贈プロジェクト）。



宮城県巨理町の被災者が作業している手芸工房にも、手芸関係の本をお届けしました。

2013 年度

仮設住宅や障がい者/高齢者施設、幼稚園などに、不足している図書や物品を寄贈。
被災後、離れ離れになってしまった住民同士の交流会を企画。7月、宮城県大崎市の鳴子市立小学校で、能楽囃子大蔵流大鼓奏者の大倉正之助さんによる鼓体験ワークショップを開催した。



鳴子小学校の体育館を舞台に大倉 正之助さんの鼓ワークショップを開き、被災者の方々と地元の小学生が参加しました。

12月にも釜石市の中学校2校で講習会を行い、200名以上の生徒が参加。

翌年3月には天満敦子ヴァイオリンリサイタル「明日に繋ぐ祈り 2014」（福島・岩手・東京）を共催。



南相馬市民文化会館(ゆめはっと)で、祈りを込めて演奏する天満 敦子さんとピアノの吉武 雅子さん
[AAR 提供]

2013年は、地震と津波で大きな被害を受けた地域の住民の方々が安全に生活できるよう、防犯灯設置プロジェクトも開始。まずモデル地域として、壊れた住宅の改修や新築が進み、他の被災地域からの転入者も増えつつある大船渡市に、LED 防犯灯 20 台を設置。その後42台を追加した。宮城県石巻市にも15台を設置し、夜間も安心して歩行や運転することが可能になった。



岩手県大船渡市にある英語教室前の夜道を照らすLED防犯灯。
自転車や徒歩で通ってくる中高生の帰宅を温かく見守ります。

鳴子小学校の体育館を舞台に、大倉 正之助さんの鼓ワークショップがはじまりました。

その他、福祉施設の人件費負担や商品開発支援など、生活再建のための支援に取り組んだ。

2014 年度

発生から4年が経過。震災の経験を生かすため、防災をテーマに、AAR主催の「防災イベント in SOMA」を共催（福島県相馬市などでのシンポジウム、被災地訪問バスツアー、被災者支援コンサート）。



被災地訪問バスツアーで
相馬市内の震災慰霊碑を
訪れ、弔意を表す参加者

東北三県での図書寄贈や宮城県での防災用品等の寄贈も行った。その他、宮城県石巻市の伝統行事「神輿渡御」の復活を支援。また、宮城県石巻市、岩手県大船渡市で被災した障がい者福祉施設の運営支援を開始。



津波で壊滅的な被害に遭った
宮城県石巻市北上町十三浜。
集落のひとつ、吉浜の熊野神社の
神輿渡御の復活を支援し、地域を
離れた元住民も久しぶりに集まって
再会を祝いました。

2015 年度

岩手県山田町の障がい者福祉施設の運営支援を追加。前年度に支援を開始した岩手県大船渡市の障がい者福祉事業所「かたつむり」については、高台に新たな施設を建設する計画を

全面的に支援。ホームページなどで全国に寄付も呼びかけた。



施設の再建を目指す岩手県大船渡市の障がい者福祉事業所「かたつむり」。
クリスマスパーティーで日頃の疲れを
吹き飛ばす利用者と職員の方々。

また、相談支援の一環として、仮設住宅で長期の避難生活を送る方々を訪問し、マッサージや茶話会を実施した。

2016 年度

福島県の仮設住宅を訪問し、マッサージと傾聴活動を実施。被災者同士の交流を促進し、生活上のストレスや将来の不安を和らげるため、被災した親子や障がい者の交流会などの地域交流イベントも行った。

原発事故の影響により、移転を余儀なくされた福島県の障がい者福祉事業所の利用者・職員の交流会も行い、約 120 名が参加。

障がい者福祉事業所「かたつむり」の施設は 2017 年 6 月に完成し、現在も利用者の方々の居場所・就労支援の場として、活動を続けている。



2017 年 6 月 24 日、かたつむり竣工式。
大船渡市の戸田公明市長もご出席くださり、
青空の下、職員、利用者のご家族の方々と
ともに新しい船出を喜び合いました。